

令和３年度入学式 式辞

緑豊かな東大和市の地に、温かな日差しが心地よい、春がやってまいりました。

本日は、ご多用の中、保護者のみなさまにご臨席を賜り、令和三年度の入学式を無事に挙行できましたことを、厚く御礼申し上げます。

さて、改めて新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

新しい中学校の制服に身を包んだ皆さんの表情は、大変凛々しく、これからの中学校生活への期待や、意気込みが現れているように感じます。今はまだ、その真新しい制服がちょっと大きく、しっくりとくる感じではありませんが、これからの中学校生活を通して、心身共にたくましくなる中で、徐々に制服も似合ってくると思います。

皆さんも、もう知っている事と思いますが、中学校では小学校と様々な違いがあります。すべての教科毎に先生が変わることや、定期試験があること。部活動があること等、楽しみでもあると共に、環境の変化にとまどうことがあるかもしれません。

しかし、２年生、３年生の良き先輩も大勢います。もし、困ったことがあったら、きっと助けになってくれるはずですので、安心して欲しいと思います。もちろん私たち教員も皆さんの学校生活を、みんなで応援します。困ることがあったら、いつでも、誰にでも声をかけてください。

ところで、話は変わりますが、四中には今から十年ほど前に、当時の生徒会が中心になって作った「四中人権宣言」というものがあります。これは、生徒自身が共に安心して、楽しく学び合い、笑顔で皆が「豊かな学校生活」を送るための約束です。生徒自身が作ったこのようなものは、都内の中学校をみてもそう多くはありません。それだけに四中が誇れるものだと思っています。

「四中人権宣言」が伝えているのは、「人との出会いを大切する」ということです。皆さん一人一人が、かけがえのない大切な存在です。他の小学校から来た人とも一緒になります。出会いを大切に、互いに相手を思いやることを忘れず、楽しく生活できる、学べる場にして欲しいと願っています。

また、「四中人権宣言」は、生活の決まり等について考える時、皆の判断のよりどころにもなります。「皆が互いを尊重して、楽しい学校生活が送れるか」ということはもちろんですが、「決まりにないことでも」人権宣言を踏まえ、自分で考え、正しい行動ができるようになることを期待しています。

最後になりますが、新入生の保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとうございます。これからの３年間は、義務教育最後の３年間になります。

私たち教師の務めとして、教科の学習や、様々な行事への取組を通して、知識や思考力、一人一人が自信を持てる存在になるように励まし、時に叱り、個々の良いところを伸ばしてやること。知恵と正しい判断力を身に付けさせ、社会の一員として、自分の責任を果たして生活することができるようにすることだと考えます。

現在、世界が置かれた状況は、体験的な学習について大変厳しい状況にあるといえます。限られた中での取り組みもあるかもしれませんが、実施のための工夫をして、その機会を失わないよう、考えて取り組んでまいります。

保護者の皆様とは、子供の良き成長を願って、共に協力して取組んで参りたいと願っています。お力添えのほど、よろしくお願いいたします。

新入生一人ひとりが充実した中学校生活を送ってくれることを期待し、式辞とします。

令和三年 四月六日

東大和市立第四中学校長 住吉 豊